

(令和4年度第2次補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 高岡地区広域圏事務組合 (都道府県: 富山県)

本事業の担当部局名 高岡地区広域圏事務組合総務課

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業		
区分	一般メニュー		
関連事業メニュー	1.1.3 結婚支援を行うボランティアの育成、ネットワーク化		
個別事業名	広域婚活支援事業(縁結びボランティアによる婚活支援)	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~ 令和6年3月31日	事業開始年度	平成27 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	2,041,750 円		
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け) <地域における実情と課題> 高岡地区広域圏(高岡市、氷見市、小矢部市で構成)では、年少人口の減少が続いている。課題として、20代後半から40代後半の未婚率の高さが挙げられる。(令和2年国勢調査によると、広域圏の20代後半から40代後半の未婚率は、富山県全体と比較し、約2%高い結果であった。) <本個別事業の位置付け> 高岡地区広域圏事務組合では、平成28年度から仲人的な役割をする「縁結びボランティア」による婚活支援に取り組んでいるが、独身者よりもこの家族、特に独身男性の親からの相談や問い合わせが非常に多い。それに対して独身者本人が婚活に消極的であったり、コミュニケーションに対する積極性が見られない傾向がある。単なる出会いの場づくりではなく、出会いの後も二人を後押しするなど、より積極的な支援が必要となっている。 また、構成市を含んだ近隣市町村の中でも、婚活を支援するボランティアによる「仲人」的な事業が開始され、一定の成果を出しているが、事業が継続されるにつれて、サポート対象である登録者の数が伸び悩み、単独の自治体での結婚希望者のマッチングに限界があるという状況が浮かんできている。 このため、企業・団体単位での登録などの対策を検討する近隣自治体が増えている。 当組合を構成する各市において策定が進められた総合戦略では、いずれも、少子化対策としての一連の事業、目標として、「結婚」の段階を含めた総合的な対策を掲げている。その中では、単独の事業に加えて、「広域的な取り組み」「隣接市との連携」に言及している状況にある。 圏域内の婚活支援の取り組みについては、市によって取り組み状況が異なっているところであり、当組合が構成市の事業を補完し、連携することで、マッチングの機会が増え、カップル成立数や成婚数の増加が期待される。 加えて、富山県では平成26年度に「とやまマリッジサポートセンター」が設置され、県下全域での情報端末を活用した婚活支援事業に着手されており、また平成28年度に富山県結婚支援ネットワークが形成されたことから、こうした事業とも連携しながら、総合的かつ広域的な婚活支援事業を実施していくものである。 当組合が行う広域婚活支援事業では、①縁結びボランティアによる婚活支援、②県が行う結婚支援事業との協力・連携、③出会いの機会づくりの実施を三つの柱として、総合的な結婚への支援を行う。本事業はこれらのうち、①に位置づけられる。 (本個別事業における現状と課題) 広域婚活支援事業では、縁結びボランティアによる婚活支援に重点をおき、ボランティアの活動を支援することでマッチングや引き合わせの増加、そして成婚カップルの誕生を目指している。ボランティアの情報交換の場となる定例会の開催、また活動経費の助成(一部負担)を行うことでボランティアの負担軽減を図っている。 ボランティアの育成については、初心者からベテランボランティアに至るまで、各段階に応じた研修を実施する。あわせて、イベントやセミナーにボランティアが関わることで、現代の婚活の現状を把握し、スキルアップ向上を図る。 この事業は、構成市とともに取り組むことでより広域の特性を生かせるものであり、3市ボランティア合同情報交換会を開催するなど、市域を超えた交流の場をより多く創出している。 課題としては、コロナ禍における人との接触機会の減少を要因とした縁結びボランティアの減少及び3市の縁結びボランティアの情報交換機会の減少による婚活の停滞があげられる。要因として、縁結び事業の周知不足及び縁結びボランティア同士で婚活相談の場を設ける機会が少なかったことが挙げられる。 (課題への対応) 事業PRのためのポスターやチラシを作成し、周知を強化する。また、新型コロナウイルス感染予防のため休止していたボランティア交流会を再開し、3市のボランティアが直接交流し、最新の婚活事情をお互いに把握することで、婚活事業をより積極的に進めて行く。		

個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容	ステップ アップ	KPI 設定
	1	ボランティア養成講座	①縁結びボランティア中級研修&ボランティア交流会(9月頃実施) 1回開催 参加目標人数 40名・達成率100% ※昨年度までは新型コロナウイルス感染予防の為、ボランティア交流会は休止していたが、新型コロナウイルス感染が落ち着いてきたこと及びボランティアから交流会を開催してほしい旨の要望が継続的にあることから、研修後、3市のボランティアが交流する場を設ける。 ②縁結びボランティア初級研修(3月頃実施) 1回開催 参加目標人数 20名・達成率100%		○
	2	お見合い写真撮影会	縁結びボランティア事業登録時の写真について、お見合い向けの写真ではない方が多く、写真撮影会の機会を設けてほしいとのボランティアからの要望を受け、お見合い写真撮影会を開催する。	○	
	3	ボランティア事業PR	登録者数の増加及び広域婚活支援事業認知度向上のための周知強化策としてチラシ、ポスターを作成する。 ・チラシ A4 カラー 両面 1,000枚 ・ポスター A2 カラー 片面 100枚 ・配布先 圏域内公的施設等	○	
	4	縁結びボランティアによる婚活支援	高岡地区「縁結びボランティア」が、下記の活動を行う。 ・地域における相談業務 ・地域の未婚者同士のマッチング・お引き合わせ ・イベントの企画運営(個票②参照)		○
【次年度以降に向けた事業の方向性】 ・ボランティア、サポート登録者の増加を目指すために事業PRのポスターやチラシで周知を強化し、ボランティアが望む研修や交流会を実施する等、ボランティアに寄り添った婚活を進めて行く。					
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 ・氷見市縁結び推進事業、小矢部市結婚活動支援事業					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
	・圏域内縁結びボランティアの活動による成婚数	組	累計50	令和4年度15組
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率	%	高岡市1.43、氷見市1.25、小矢部市1.43	
	婚姻件数	件	高岡市594件、氷見市127件、小矢部市80件	
	婚姻率	%	高岡市3.6、氷見市2.9、小矢部市2.8	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	○ボランティア養成講座			
	・参加目標人数：中級研修&交流会 参加割合：100%	人	40	令和4年度：20人
	・参加目標人数：初級研修 参加割合：100%	人	20	令和3年度：15人
	・参加後のアンケート「研修が今後の活動に役立つ」の回答割合	%	75	令和4年度：100%
	・ボランティアの支援を受けたサポート登録者の満足度(アンケート)	%	70	令和4年度：93%
	○ボランティア活動助成			
	・広域縁結びボランティアの新規登録数	人	10	R4.12末時点：2人
	・広域縁結びボランティア事業サポート登録者数	人	90	R4.12末時点：100人
	・サポート登録者数に対する引き合わせ成立者数の割合	%	70	R4.12末時点：75%
	○ボランティア事業PR			
	・チラシ配布枚数	枚	700	新規事業
	・ポスター配布枚数	枚	70	新規事業
	・ボランティア事業の認知度(アンケート)	%	70	新規事業
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	当組合では婚活支援利用者にとやまマリッジサポートセンターを紹介して利用促進を図り、また同センターが実施するセミナーやイベントの情報提供をいただいてそれをボランティアに提供することで、圏域住民の出会いの機会が広がるよう努めている。また、富山県結婚支援ネットワーク会議が設立され、各市町村の婚活情報を県のサイトに掲載していただけるようになったことから、当組合の情報も積極的に提供していく。			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	これまで、縁結びボランティアの募集についてJA、保険会社、結婚式場等へ広報依頼をしてきたが、今後は当組合が行うイベントやサポート希望者の募集等についての広報を県内の一般企業や団体にも依頼し、イベント実施への協力については各市の商工会議所との連携も検討する。			

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中で本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、②③は記載不要。

①これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情・課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中で本個別事業の位置付け

②本個別事業が継続事業である場合はこれまでの事業実施状況及びその中で見つかった課題(新規事業である場合は不要)

③本個別事業が新規事業である場合は地域における実情と課題への対応、継続事業である場合は本個別事業における現状と課題への対応

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和5年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中で本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

(令和4年度第2次補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 高岡地区広域圏事務組合 (都道府県: 富山県)
本事業の担当部局名 高岡地区広域圏事務組合総務課

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業		
区分	一般メニュー		
関連事業メニュー	1.1_6 その他、各地域において結婚を希望する者の希望の実現を支援するための取組		
個別事業名	広域婚活支援事業(出会いの機会づくりの実施)	新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~ 令和6年3月31日	事業開始年度	平成27 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	1,818,500 円		
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け ※(注)2	＜地域における実情と課題＞ 高岡地区広域圏(高岡市、氷見市、小矢部市で構成)では、年少人口の減少が続いている。課題として、20代後半から40代後半の未婚率の高さが挙げられる。(令和2年国勢調査によると、広域圏の20代後半から40代後半の未婚率は、富山県全体と比較し、約2%高い結果であった。) ＜本個別事業の位置付け＞ 高岡地区広域圏事務組合では、平成28年度から仲人的な役割をする「縁結びボランティア」による婚活支援に取り組んでいるが、独身者よりもこの家族、特に独身男性の親からの相談や問い合わせが非常に多い。それに対して独身者本人が婚活に消極的であったり、コミュニケーションに対する積極性が見られない傾向がある。単なる出会いの場づくりではなく、出会いの後も二人を後押しするなど、より積極的な支援が必要となっている。 また、構成市を含んだ近隣市町村の中でも、婚活を支援するボランティアによる「仲人」的な事業が開始され、一定の成果を出しているが、事業が継続されるにつれて、サポート対象である登録者の数が伸び悩み、単独の自治体での結婚希望者のマッチングに限界があるという状況が浮かんできている。 このため、企業・団体単位での登録などの対策を検討する近隣自治体が増えている。 当組合を構成する各市において策定が進められた総合戦略では、いずれも、少子化対策としての一連の事業、目標として、「結婚」の段階を含めた総合的な対策を掲げている。その中では、単独の事業に加えて、「広域的な取り組み」「隣接市との連携」に言及している状況にある。 圏域内の婚活支援の取り組みについては、市によって取り組み状況が異なっているところであり、当組合が構成市の事業を補完し、連携することで、マッチングの機会が増え、カップル成立数や成婚数の増加が期待される。 加えて、富山県では平成26年度に「とやまマリッジサポートセンター」が設置され、県下全域での情報端末を活用した婚活支援事業に着手されており、また平成28年度に富山県結婚支援ネットワークが形成されたことから、こうした事業とも連携しながら、総合的かつ広域的な婚活支援事業を実施していくものである。 当組合が行う広域婚活支援事業では、①縁結びボランティアによる婚活支援、②県が行う結婚支援事業との協力・連携、③出会いの機会づくりの実施を三つの柱として、総合的な結婚への支援を行う。本事業はこれらのうち、③に位置づけられる。		
	(本個別事業における現状と課題) 本事業は、結婚に関するセミナーやイベントを開催し、結婚を希望する男女に対し、自身のブラッシュアップや出会いの機会の場を創出するものである。 本事業における現状として、長引くコロナ禍により婚活イベントを開催できない状況が続いていたことから、イベント参加への需要が高まっていたこともあり、R4年度に開催したイベントは貴重な機会となり、参加者はお互いに積極的にコミュニケーションをとり活気があった。 課題としては、一点目に、各市がそれぞれ実施する婚活のみでは登録者が少ないこともあり、なかなかマッチングしない現状があり、それを打破する為にはより広域的な取り組みを増やし、交流人口を増やす施策が必要となっている。二点目に、婚活、結婚に消極的な独身男女の親等からの相談が年々増加していることがあげられる。コロナ禍により人との交流が減ったことに加え、結婚に関する悩みを相談できる機会があまりない。三点目に、参加者の中には異性からの見た目を重要視しない方や、相手と全く話すことができない方がいることがあげられる。		
	(課題への対応) イベントについては、3市連携をこれまで以上に強力に推進する為、3市の縁結びボランティアが企画する婚活イベントを開催する。 結婚相談については、民間結婚相談事業者の無料相談事業を新たに設け、婚活に悩む本人やその親を不安を解消し、積極的な婚活を推進していく。 参加者の外見に関する課題については、新たに女性向けの魅力アップセミナーを設け、メイクアップなどの魅力向上を目指した魅力アップセミナーを実施することで対応する。		

個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	婚活セミナー付きイベント	結婚を希望する独身の男女を対象に事前セミナー付出会いのイベントを開催する。イベントには縁結びボランティアも参加し、参加者に会話やマッチング後のフォロー等を行う。事前セミナーは、ボランティアと登録者との意見交換会において受講したいセミナーをヒアリングし、ボランティアと登録者の意見を取り入れた内容のセミナーを実施する。 1回開催 参加目標人数 56名・達成率100%		○
	2	交流イベント	結婚を希望する独身の男女を対象に出会いのイベントを開催する。イベントには縁結びボランティアも参加し、会話やマッチング後のフォロー等を行う。また、参加者へ縁結びボランティア事業(ボランティアによる支援を受けられるサービス)への登録促進を図る。R4年度は参加者を年代別に対象範囲を設けたところマッチング率が向上したため、R5年度においても継続して実施する。また、参加者がイベントでより多くマッチングするよう、気になる相手がいない場合にもできるだけ相手を選ぶ様に促しマッチング率を向上させるなどイベント内容を工夫する。 1回開催 参加目標人数 56名・達成率100%		○
	3	縁結びボランティア企画イベント	結婚を希望する独身の男女を対象に3市の縁結びボランティア合同企画の出会いのイベントを開催する。イベント中は縁結びボランティアが、会話やマッチング後のフォローを行い、縁結びボランティア事業(ボランティアによる支援を受けられるサービス)未登録の参加者には縁結びボランティア事業への登録促進を図る。 1回開催 参加目標人数 20名・達成率100%	○	○
	4	男性向け魅力アップセミナー	縁結びボランティア事業の男性登録者の婚活の状況から、コミュニケーションがあまり得意ではない登録者が多く、相手と積極的に話すことができないことや、会話が続かないといったことが多く見受けられることから、コミュニケーション能力向上をメインとした魅力アップセミナーを実施する。参加する登録者を担当する縁結びボランティアにも参加を促し、参加者の不得意分野のフォロー等を実施する。 1回開催 参加目標人数 20名・達成率80%		○
	5	女性向け魅力アップセミナー	婚活を続けているが、連絡先は交換できるけど「発展」しない、次に付き合う人とは結婚したい、婚活のこと相談できる人が少ない、具体的にメイクアップのやり方を学びたいといった女性婚活者に対し、女性目線の魅力アップセミナーを実施する。参加する登録者を担当する縁結びボランティアにも参加を促し、参加者の不得意分野のフォロー等を実施する。 1回開催 参加目標人数 20名・達成率80%	○	○
	6	民間結婚相談事業者による無料相談事業	婚活、結婚に関して、本人、親、家族からの相談が年々増加しており、そのような事柄に対応するため、結婚相談等を生業とする民間の事業者等による相談事業を実施する。相談者が、今日の結婚事情等への理解を深めたうえで、それぞれの婚活支援事業を活用していただくための環境づくりを進めていく。 講師謝金 8,000円×4回×10ヶ月×1.1=352,000円 40回開催 参加目標人数 40名・達成率80%	○	○
【次年度以降に向けた事業の方向性】 ・結婚を望む独身男女が申込しやすいよう、応募方法やイベント内容を工夫する。					
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 ・氷見市縁結び推進事業、小矢部市結婚活動支援事業					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
	・セミナーやイベント実施後の参加者アンケート(満足度)	%	「満足」の回答が80	令和3年度80%
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率	%	高岡市1.43、氷見市1.30、小矢部市1.43	
	婚姻件数	件	高岡市594件、氷見市127件、小矢部市80件	
	婚姻率	%	高岡市3.6、氷見市2.9、小矢部市2.8	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	○婚活セミナー付きイベント			
	・(セミナー)参加目標人数(達成率100%)	人	56	令和4年度：43人
	・(イベント)参加目標人数(達成率100%)	人	56	令和4年度：43人
	・引き合わせ成立者数	人	26	令和4年度：20人
	・参加者アンケート：「結婚に対する活動に前向きになった」の回答割合(満足度)	%	70	令和4年度：54%
	・参加者アンケート：「イベントの参加を友人にも薦めたいと思った」の回答(満足度)	%	70	令和4年度：86%
	・ボランティア参加目標人数(達成率100%)	人	10	令和4年度：12人
	・ボランティアアンケート：「本日のイベントで実践的に活動できたと思う」の回答割合(満足度)	%	70	令和4年度：80%
	○交流イベント			
	・参加目標人数(達成率100%)	人	56	令和3年度：45人
	・引き合わせ成立者数	人	26	令和3年度：16人
	・参加後のアンケート：「結婚に対する活動に前向きになった」の回答割合(満足度)	%	70	令和3年度：80%
	・参加後のアンケート：「イベントの参加を友人にも薦めたいと思った」の回答(満足度)	%	70	令和3年度：42%
	・ボランティア参加目標人数(達成率100%)	人	10	令和3年度：7人
	・ボランティアアンケート：「本日のイベントで実践的に活動できたと思う」の回答割合(満足度)	%	70	令和3年度：86%
	○男性魅力アップセミナー			
	・参加目標人数(達成率80%)	人	16	令和4年度：16人
	・参加者アンケート：「今後の婚活に役立つ」の回答割合(満足度)	%	80	令和4年度：100%
	・ボランティア参加目標人数(達成率100%)	人	10	令和4年度：9人
	・ボランティアアンケート：「今後の活動に役立つ」の回答割合(満足度)	%	70	令和4年度：100%
	○女性魅力アップセミナー			
	・参加目標人数(達成率80%)	人	16	新規事業
	・参加者アンケート：「今後の婚活に役立つ」の回答割合(満足度)	%	80	新規事業
	・ボランティア参加目標人数(達成率100%)	人	10	新規事業
	・ボランティアアンケート：「今後の活動に役立つ」の回答割合(満足度)	%	70	新規事業
	○縁結びボランティア企画イベント			
	・参加目標人数(達成率80%)	人	16	新規事業
	・ボランティア参加目標人数(達成率100%)	人	10	新規事業
	○民間結婚相談事業者による無料相談事業			
	・参加目標組数(達成率80%)	組	32	新規事業
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	当組合では婚活支援利用者にとやまマリッジサポートセンターを紹介して利用促進を図り、また同センターが実施するセミナーやイベントの情報提供をいただいてそれをボランティアに提供することで、圏域住民の出会いの間口が広がるよう努めている。また、富山県結婚支援ネットワーク会議が設立され、各市町村の婚活情報を県のサイトに掲載していただけるようになったことから、組合の情報も積極的に提供していく。			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	これまで、縁結びボランティアの募集についてJA、保険会社、結婚式場等へ広報依頼をしてきたが、今後は当組合が行うイベントやサポート希望者の募集等についての広報を県内の一般企業や団体にも依頼し、イベント実施への協力については各市の商工会議所との連携も検討する。			

(注)

- 1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。
- 2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、②③は記載不要。
 - ①これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情・課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け
 - ②本個別事業が継続事業である場合はこれまでの事業実施状況及びその中で見つかった課題(新規事業である場合は不要)
 - ③本個別事業が新規事業である場合は地域における実情と課題への対応、継続事業である場合は本個別事業における現状と課題への対応
- 3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的な内容を記載すること。
 - ※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。
 - ※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。
- 4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和5年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。
- 5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。
- 6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。
 - ※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
 - ※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。
- 7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
- 8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。